



はばたき

学校教育目標 自ら学び 心豊かで 健やかな子ども

令和4年6月29日

第11号

校長 古本 龍夫

今週末は、もう7月です。6月21日(火)から始まった長崎っ子の心を見つめる教育週間も27日(月)で終わりました。約400名の方々がご来校いただきました。本当にありがとうございました。今回は、「教育週間」を特集します。

被爆体験講話 21日(火)



6月21日(火)3・4校時に4,5,6年生が、体育館に集まって山川剛先生の被爆体験講話を聴きました。原爆や平和のことに深く考えました。



講師の先生が、熱心にお話されました。



みんなも真剣に聴きました。

全校集会 21日(火)

全校集会は、今年度始めて全児童が体育館に集まって実施しました。十分な間隔や換気を行って実施しました。

校長講話は、かけがえのないいのちを何に使うのかということについて話しました。

今から75年ほど前、打坂で起きた出来事について話しました。鬼塚道男さんという当時21歳の車掌さんが、自分の身を犠牲にしながら、バス乗客30名のいのちを救ったということをお話しました。

いのちの使い道を「使命」といい、懸(か)けるべきいのちを「懸命」ということ。かけがえのないいのちをしっかりと生きるということは、「はたらく」ことだと話しました。はたらくことは、周囲の人を楽にしたり、楽しくすることだと話しました。

そのためには、今よく学び、よく遊び、よりよく生きていくことだと話しました。

全校児童みんな真剣に聴いていました。

いっちゃんコンサート 6月27日

とても楽しいコンサートでした。時間を忘れて音楽に浸ることができました。感謝です。ありがとうございました。



最後に6年生と市原隆靖さんと記念写真



全校児童で聴きました

集団下校 6/25

6月25日(土)は集団下校をしました。6年生を中心によく集団をリードしてくれました。育友会、育成協、少年補導員さんたくさん協力していただきました。



1年 ファミリープログラム

6月25日(土)14時から1年生保護者対象にファミリープログラムをしました。全員で14名の保護者の方々が熱心に子育てについて語り合いました。とても有意義な時間を過ごすことができました。



○叱るときの自分の態度が子供にそっくりだった。叱るときとほめるときの落差がすごすぎて客観的に見て異常だなどと思わずと一緒にいると子供はしんどいよねと思いました。

○普段子どもに対して自分が発している言葉を文字に表すのがとても恥ずかしく思った。と同時に他の方々とも共感できる部分もあったので参加してよかった。

○普段の自分の叱り方を冷静に考えることができた。他学年他クラスの保護者の方とお話ができ、今後の子どもの学校生活が心強くなりました。

ご参加本当にありがとうございました。